

特集 令和元年度「秋季地域座談会」



9月9日から17日にかけて各支店管内で開催されました。

協議事項

- ① 令和元年度産米の集荷・販売方針について
- ② 令和元年度カントリーエレベーター稼働について
- ③ 令和2年産米方針について
- ④ 令和2年度用営農資材予約注文書について

出席頂いた総勢157名の組合員のみなさまから、貴重なご意見・ご要望を頂きました。みなさまの、ご意見・ご要望はこれからのJAあきた白神の事業運営に必ず反映させて参ります。
この度のご意見・ご要望についてQ&A方式でご紹介いたします。

質疑応答①

Q 令和元年度産米の値段は非常に高かったが、あまり高額になると市場での消費が減退するのではないか。

A 令和元年度産米の概算金につきましては、直接販売業者と交渉し、有利販売に繋げております。

質疑応答②

Q 令和元年度産米の、中米・くず米の動向と見込価格はどうか。

A 各産地とも中米・くず米の発生は少なく、品質的にも良くないようですが、価格については、昨年を上回る価格となっております。



質疑応答③

Q 昨年度、午前中稼働していたカントリーエレベーターが、午後から荷受中止となり困惑した。突然の機器の故障や容量オーバーで荷受けを中断する際のカントリーエレベーター利用者への事前連絡体制はどのように対応するのか。

A 日量の荷受重量の増加により、昨年は施設において処理能力以上の搬入があり受入を中断させて頂きました。

その対策として今年度は調製日(休止日)を増やし対応致しました。やむを得ず搬入を止める際には事前にご連絡いたします。

また、今後スムーズな稼働に向け利用者懇談会などが必要だと考えております。

